

企業事例4

～インターネットを通じて、育児休業者の
豊かな生活とスムーズな職場復帰を支援～

◆会社概要◆

本 社 東京都
創 業 明治5年
従業員数 約3,500名（平成16年4月1日）
グループ従業員数 約25,200名
（平成16年4月1日）
事業内容 化粧品事業、トイレタリー事業 等

1. 取組みの経緯

同社の社内ビジネスモデルコンテストから、育児休業者に必要な育児情報や職場復帰に向けたビジネススキル向上のための講座などをインターネットを通じて提供する育児休業支援プログラムは誕生した。育児休業期間をキャリアのブランクではなく、ブラッシュアップ期間と位置付けている。

このプログラムを開発するにあたり、育休を取得した女性社員約300人からアンケートの回答が寄せられた他、100人以上からのヒアリングも実施されている。これにより、育休取得者の要望や生活背景をきちんと反映したプログラムが開発されている。

2. 取組みの状況

同社が開発した育児休業支援プログラムは、社内での利用はもちろん、社会貢献事業として他社にも販売をし、現在約110社の企業が導入している。「育休中の従業員が孤独な戦いをするのではなく、スキルアップすることを企業が認め

るようにしたい。また、企業と育児休業者の架け橋がビジネスになることも証明したい」との思いから、企業個人間取引ではなく企業間取引、つまり企業にプログラムを買ってもらうことにこだわっている。育児休業支援プログラムは企業と育児休業者に対しオンライン講座などのサービスが提供されるが、サービス料の支払いは企業が一括して行う。

育児休業者に対するサービスは、スキルアップと職場復帰支援の2つに大別される。職場復帰後に役立つビジネススキルを身につけ、専用掲示板で会社の動向を確認し、育児休業者同士が情報交換するコミュニティを利用して不安を解消するといった効果が見込める。

具体的なサービスは以下のとおり。

(1) オンライン講座

① ビジネススキルアップ講座

パソコン基礎、インターネット使いこなし、ワード、エクセル、パワーポイント、ビジネス文書、簿記基礎、初級システム

アドミニストレータ試験などの各種講座。
② ライフスタイルアップ講座
職場復帰、きれいママ、ダイエット、料理、収納の各種講座。

(2) インフォメーション

スケジュール管理や日記入力、講座受講状況チェックができる「デイリーノート」、育児休業中のオンライン講座受講のプランが作成できる「プランニング」など。

(3) コミュニティー

育児休業者に対する会社からの案内や企業内の育児休業者同士のコミュニケーションを目的とした「企業専用掲示板」、企業の枠を超え、育児休業支援プログラムを利用している育児休業者全体のコミュニケーションの場である「総合掲示板」、育児休業者と職場上司の情報交換を促すためのリマインダーメールを、育児休業支援プログラムから職場上司に対して定期的送信する「情報交換メール」など。

他方、企業側へのサービスとしては、人事担当部門が育児休業者を管理するためのツールもあり、企業向けのサービスを利用することで、コストや手間を抑えることができる。



3. 取組みの効果

育児休業者にとっては、①職場復帰に対する不安の解消と自信の回復、②育児の合間を利用した効果的なスキルアップ、③育児生活を通じた新しい視点の獲得、④仕事と育児を両立するためのノウハウ取得などがメリットとなる。

企業にとっては、①育児休業者の会社への帰属意識と職場復帰に対する意欲の向上、②出産・育児を契機とした離職の防止と優秀な人材の長期的確保、③企業イメージの向上と採用時の優位性発揮、④多様な価値観の醸成などがメリットとなる。

社内報などで育児休業支援プログラム導入を大きく紹介した企業では、若い女性社員から「うちの会社って、本当に育児休業後も働き続けることを応援してくれるんですね！」という好意的な反応が寄せられたという。出産・育児休業後も働き続けることに前向きな姿勢を見せることにより、若い層が長期的なキャリアプランを持って働けるようになっている。

4. 今後の課題

今後は、導入企業数よりもユーザー数の向上に力を入れ、より多くの育児休業者が充実した休業を過ごし、その後のキャリアに活かすことのできるようしていきたいと考えている。

また、多くの企業の人事担当者が次世代育成に取組みを進めている今、育児休業支援プログラムをきっかけに、子育て支援の社内制度整備などについて、企業間の連携を図る取組みを進めていきたいとも考えている。